

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 *EST. 1935 (昭和10年) 創立81年*

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

看護科

第49回 戴帽式

5月27日(金)、2年生を対象に第49回戴帽式がありました。保護者の見守る中、戴帽生一人ひとりにナースキャップが渡され、これから始まる臨地実習に向けて新たな誓いをしました。2年生の実習は、6月27日(月)～7月22日(金)までの4週間、済生会八幡総合病院を中心に4施設で行われます。



戴帽宣誓をする
小野加奈子さん
(岡垣中学)



保育コース

実習壮行会

5月27日(金)、幼稚園実習を前に壮行会があり、3年生は後輩たちを前にパネルシアターを披露しました。



パネルシアターを披露
する3年生



幼稚園実習

5月30日(月)～6月3日(金)までの5日間、付属の愛真幼稚園を始め近隣の幼稚園や保育園での実習に臨みました。



愛真幼稚園での実習中の生徒

製菓衛生師コース

和菓子特別授業

5月30日(月)・31日(火)・6月3日(金)の3日間、門司の「和菓子なごし」の会長名越一幸先生をお迎えして、2年生の和菓子実習がありました。初めて和菓子実習に取り組む生徒達は、小麦粉に、卵・砂糖を混ぜ両面から焼いたやや厚みのある平たい円形状の丸ボーロや饅頭・羊かんなど伝統的な和菓子13種類を作り上げました。



丸ボーロ

国際交流

5月27日(金)、韓国姉妹校の永化(ヨンファ)観光経営高等学校より4名の留学生と李 栄培校長先生、韓 昌虎先生をお迎えし、来年度より短期留学から1年間の長期留学に変更になることから、改めて調印式がありました。留学生は6月2日(木)まで滞在し、3日(金)に帰国しました。



四名の留学生



調印式での様子
本校校長(手前)と李校長(奥)

「草創期の黒田藩と栗山大膳 黒田長政の入国②」

長政の父は黒田官兵衛孝高と云い、秀吉が天正十五年(1587)、島津討伐のために九州入りした際は、軍奉行として活躍、秀吉の九州平定には多大の功績をあげます。島津討伐戦の終了後に秀吉から論功行賞として、豊前国の京都・仲津・築城と豊後の一部上毛・下毛・宇佐の各郡十二万石を与えられ、中津を居城としますが、中津在城十三年で福岡に移封することになります。戦国時代最高の軍師と云われ、多大の功績を上げた官兵衛にとっては、極めて冷遇された恩賞だったと云われています。それも秀吉の官兵衛に対する恐れと警戒心からで、秀吉の本心を知った官兵衛は恐れ、隠居して如水と号し、長政に家督を譲ります。天正十七年(1589)まだ、若い四十三才の時でした。嫡子長政は如水の期待に応えて、家康に忠誠を尽くし、関ヶ原戦の功績は絶大で、長政に与えられた筑前五十二万石は、それは大藩の国主として遇された最高の榮譽だったと云えましょう。筑前は現在の福岡県の大半を占め、怡土・志摩・早良・那珂・席田・糟屋・宗像・遠賀・鞍手・嘉麻・穂波・夜須・下座・上座・御笠の十五郡を有する広域の大藩でした。中津在城十三年間は、日夜戦いに明け暮れて、気の休まる日とてありませんでしたが、徳川の天下りとなり、福岡城主におさまって見ますと、平穩無事の日常が本心に難く思えてくるのでした。余裕の出た長政は五十二万石の藩主として、藩政に専心配意して、藩政に尽くしたいと考えるようになったに違いありません。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大膳」より

学校見学会(予定)

- ・ 学校紹介
- ・ 校内見学
- ・ 進学相談
- ・ 授業体験
- ・ クラブ紹介
- ・ 入試対策 等

第1回 7月 9日 (土)

第2回 9月 24日 (土)

第3回 10月 15日 (土)

第4回 11月 12日 (土)